

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成21年度第5回東小金井駅北口まちづくり協議会		
事務局 (担当課)	開発事業本部区画整理課		
開催日時	平成21年12月21日(月) 19時00～21時00分		
開催場所	小金井市区画整理課事務所内		
出席者	委員	大沢昌玄・加藤常雄・佐藤伸朗・池亀吉信・大矢榮子・鴨志田春雄 高木 裕・土屋隆男・土屋晴彦・中村昭英・高橋清徳・立川 明 小島 義一・市川 裕	
	新都市等	高麗 誠・大須賀稔博・馬場勝彦・芳賀 稔	
	事務局	高橋 智・岡崎健次・梅原啓太郎・吉永浩一郎・原嶋薫・穂山琢也	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	2名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議題 交通広場の整備イメージの検討 (交通広場に導入する機能と配置について) 3 その他 4 閉会		
会議結果	前回の協議会の主な議論のまとめ及び、交通広場の整備イメージ(導入する機能と配置)について事務局より説明し、話し合いを行った。 次回協議会の開催日を2月23日に決定した。		
提出資料	1.次第 2.資料1～4		

審議経過

- 会長 定刻になりましたので、ただ今から、平成 21 年度第 5 回東小金井駅北口まちづくり協議会を開催いたします。
- 本日の進行につきましては、お手元の次第に沿って進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
- 今回は交通広場の整備イメージの検討、広場に導入する機能と配置について話し合いたいと思っておりますので、皆さんご協力のほど宜しくお願いします。
- 事務局 配布資料の確認をさせていただきます。
- (配布資料等の確認)
- 最初に、第 3 回協議会での議論に基づき、資料をまとめておりますのでご説明させていただきます。
- (第 3 回協議会の議論に基づく資料の説明、及び協議会後に協議会宛に電子メールが寄せられたことについても報告。)
- 会長 事務局から資料の説明がありました。ご質問、ご意見などありましたらお願いいたします。
- (質問なし)
- 会長 ないようなので、事務局の説明を続けてください。
- (コンサルタントより、議題内容についての説明)
- 会長 事務局からの説明が終了しました。ご質問、ご意見などありましたらお願いいたします。
- A 委員 交通広場の平面プランが 2 案ありますが、バス路線は同じでしょうか。
- 事務局 同じです。一案は、将来的に交通量が多くなった場合を見据え、一般用の送迎場を設ける案を検討しています。
- A 委員 バス路線はこれ以上増やせないのでしょうか。
- 事務局 1 つのバスベイに 1 つの路線というわけではありません。2 系統、3 系統とすることもできます。
- B 委員 交通広場への入口は角度が緩やかですが、出口は少しきついのではないのでしょうか。
- 事務局 軌跡を見ていただければ分かると思いますが、十字路の信号に対してバスが真正面に来られるようにするためには、大回りをしなければなりません。警視庁から、信号に対してバスを正対させるよう、非常に厳しく指導されております。
- 会長 駅の自由通路から歩道の出張り部分を渡ってメインストリートへ歩いていけるとよいのですが、もったいないと思います。信号がなくてもルールがあれば安全に渡ることはできます。
- C 委員 横断歩道がありませんが。
- 会長 隣の国立の駅前ロータリーはまったく信号がありません。山口にも似たような駅がありますが、事故が起きていません。みんながモラルを守れば大丈夫なのではないかと思います。
- D 委員 西国分寺の駅前、バスが 2 台分余裕なく配置されています。一方で、この案はバスのことばかり優先されています。車道を狭くして歩道(広場)を

広くすることはできないのでしょうか。

事務局 道路構造令によるとバスの長さは12mで、それで軌跡を検討すると乗り降り各1箇所しかとれません。それでは問題があるので、今走っている路線バスの標準である10.5mでないと乗車2台、降車1台、計3台分が取れないということで警視庁を説得し、この形になりました。これ以上バスについて協議すると、逆に歩道が狭くなることが考えられます。

警視庁から斜め停車が許可されれば別ですが、そういうわけにはいかないと思います。

乗り場を減らせば島をつくることも可能ですが、台数も乗降客数から将来を見越して計算しています。

E委員 横断歩道が1箇所しかありませんが、公園の西側へ横断する歩行者動線が必要ではないでしょうか。学生が多く横断します。

事務局 警視庁と話をしましたが、交通広場入口の交差点から近く、信号及び横断歩道を設置できません。設置するならもっと西側になってしまいます。

F委員 学生がおり、交通量が非常に多いです。無理して横断し、交通事故が起きるのではないのでしょうか。

事務局 現地を実際に視察しており、警視庁も状況は十分理解しています。

警視庁も実際の歩行者の動きを非常に気にするので、横断歩道の設置は無理もないという話にはなっています。しかし、位置に関しては否定的です。

E委員 交通広場の一体感はあったほうがよいと思います。1箇所では行き来できないのはよくないと思います。

イベント時などは困ります。バスを待っている人たちが、待ち時間に気軽に広場に行けるとよいのではないのでしょうか。

G委員 商店ができて、お客さんはしばらく通り過ぎてから横断することになります。商売をしていると、そこで横断できるかできないかはとても重要です。人の流れが変わってしまいます。駅からの人の流れはとても重要です。

F委員 歩道の幅員は3m程度(3.5m)しかなく狭いので、今までのイメージがそのまま残ってしまいます。

C委員 道路を広くしても、道路を横切るような形でどうしても近道を通ります。ゆとりあるイメージになりません。信号はなくても、横断歩道は必要ではないのでしょうか。

事務局 警視庁では通常、低木の植栽帯に横断防止柵をつけて、できるだけ横断歩道に誘導する構造にしています。

右折レーン、横断歩道間の距離、信号機と横断歩道の距離、何点かの問題が重なっています。

C委員 横断歩道はスクランブルにできないのでしょうか。

事務局 まだ確認していません。

警視庁としては、基本的にスクランブル交差点は推奨していません。しかし、駄目とも言っていないので、警視庁と協議することはできると思います。

警視庁としては、信号機の赤の時間が延びるので、斜め横断の距離が延びるのを嫌がります

- F委員 それほど交通量の多いところではないので、我慢できるのではないのでしょうか。
- 事務局 話は聞いてみたいと思います。
- 事務局 自動車交通が多いと、歩車分離式の信号といって、歩行者が一斉に青になります。そういう場所では、若い方や健康な方は斜めに行ってしまうこともあります。交通量が多いと、右左折の時に歩行者を待つと渋滞を起こしてしまうので、車は車の信号、歩行者は歩行者の信号ということで分けることが多いです。
- C委員 学生が増えているので、歩行者専用のほうが楽ではないのでしょうか。狭いので、東西通りの歩道は横断歩道までの間の緑地帯を設けない案もあるのではないのでしょうか。
- 会長 警察協議など、まだこれからやらなければならないことはたくさんあります。委員から様々な意見が出ているということで、話を聞いていただけるよう進めていただきたいと思います。
- 都でもこういう仕事はよくあると思いますが、どのように進めているのでしょうか。
- H委員 やはり警察が一番手ごわいのですが、地元の声をしっかり警察に届けることが大事です。一度話をぶつける価値はあるので、協議会等を通じて意見をまとめていくべきだと思います。
- バス、歩行者、学生という話がありましたが、自転車、自家用車など他にもユーザーはいるので、そのあたりももう一度考慮した上で、警察に話をするのもよいと思います。
- F委員 駐輪場への人の流れはどうなっているのでしょうか。
- 事務局 現在 JRさんと小金井市とで協議中で、具体的にはまだ決まっていません。市としては、駐輪場、市の出張所などいくつか要望を出しています。JR側としては、駅近くを自身で使いたいとのこと。駐輪場の整備計画は、交通対策課が今年度中を目処にまとめていますが、市が出している要望が了承されるかどうかは不透明です。
- F委員 駐輪場への流れは、駅前広場との関係が非常に重要です。駅前広場の今の状況と重ねてどう誘導していかなければならないのか、トータルで考えなければなりません。
- 事務局 JRさんとの話の中では、駅前広場から直近のところに駐輪場を設けるのは、今の段階では非常に難しいと思います。その場合、案内標識での誘導になります。
- 会長 利用者にとって一番便利なのは、駅前広場に近いところでしょう。なるべくJRの言いなりにならないように頑張ってくださいと思います。
- 事務局 小金井市だけの問題ではないので、近隣の6市と東京都さんの協力の下に要望を出していると伺っております。
- 会長 関係市町村の連合体もあるようですし、協議会でも議論が出ているということをお伝えしてほしいと思います。
- I委員 高架事業は JR が自分のお金でやっている事業ではありません。自治体が

入っています。要望はできるのではないのでしょうか。

会長 駐輪場だけではなく、市の施設も隣に入れるなど、夜明るく安心できる駐輪場をテーマにしていただけるとよいと思います。

H委員 実際に見学で行った駅前広場の、模型と同じ縮尺の図面を用意していただくと分かりやすいのではないのでしょうか。

会長 J委員が来ておられるので、駅前広場とまちづくりと道路について少しお話をいただきたいと思います。

J委員 駅からの端末交通は、徒歩と自転車で90%程度占めています。動線計画をネットワークで考えないと間違った考えを起こすかもしれないし、みなさんも理解しやすいと思います。

先程スケール感の話がありましたが、メジャーを用意すると分かりやすいと思います。

警察協議は全国的に厳しいのですが、最終的には地元の意向と交通安全でうまく折り合いをつけていかなければならないと考えています。

会長 人を惹きつける魅力が必要だと思います。人を惹きつけるということに対しての方向性がまちの中にあるのが、今の日本における問題の一面だという議論もあります。

J委員のお話にもあったように、少し広いエリアでの動線計画という、ひとつの宿題をいただきました。警察協議の中でも使えると思います。

E委員 電車の車窓からまちはどう見えるのでしょうか。車窓から見えて「ちょっと降りてみようかな？」となるとよいと思います。

会長 ホームや車窓から広場や公園がどう見えるのか、モニタージュなどできればよいのではないのでしょうか。

事務局 検討させていただきたいと思います。

D委員 イベントなど商店会で駅前広場を借りることがあると思いますが、管理者は誰でしょうか。

事務局 道路管理者、つまり小金井市の道路を管理している道路管理課で許可を出しています。それと交通管理者である警察の2つの許可が通常必要です。

会長 使用料が決まっているところも増えてきていますが、それもよいと思います。自由に使えますし、後片付けなど使う側にも義務が生じます。そのお金を回収して、道路の維持管理費の3割をカバーしているところもあります。東京都も、もしくは小金井方式でどんどんそれをやるべきだと思います。駅前広場の将来管理をどうするのかという問題もあります。

屋台のお店に貸すという話もありますが、保健所の許可がなかなか下りないので苦労しています。警察はだんだん好意的になってきています。こういったみなさんの声が届いていけば変わっていくと思います。

この点では新宿が一番進歩していますが、担当者はかなり苦労しているようです。

H委員 社会実験としてやるという話は出ています。

会長 毎月毎年許可申請を出すのも大変です。もうそういう時代ではないのではないか、継続してやらせてほしいという意見ですが、今の日本ではまだ壁が

大きいです。小金井方式をつくっていただきたいと思います。

J 委員 地元が管理しているところは、まちが元気です。たくさん人がやってきます。協議会も、通常は広場などをつくったら解散ということになるのですが、最近はそのではなく、金沢など、区画整理で組織をつくった後、維持管理の組織に移行していこうという流れになってきています。せっかく様々な議論をしたのにもったいないということです。エリアマネジメント的な概念を使うと、よい方向でまちが元気になり続けるのではないのでしょうか。

事務局 我々も協力させていただきたいと思います。

会長 みんなが参加して自分のまちを管理運営していくというスタイルの提案を、事例などまとめて事務局からしていただければと思います。今、人口1万人程度のまちが意外と元気です。道の駅なども話題になっています。沿道まちづくり、駅前広場をどう使っていくかを考えてはいかがでしょうか。

K 委員 地区計画の中で、建物の外壁の色はある程度規制できるのでしょうか。

事務局 地区計画をつくった第2次協議会でその議論が出ました。詳細に規制するという意見と柔軟にという意見に分かれたのですが、現在は、「原色は避ける」という表現だけになっております。色は地区計画ではなく、協定で決めていけばよいのではないかという提案がありました。みなさんの合意の下に、街区、通り単位で検討することは可能です。時間がかかるので、待っていただけるかという問題があります。すでに建設が進行しているところもあります。

会長 小金井市全体で色彩ガイドラインはありますか。

事務局 ありません。

会長 この近辺ではどうでしょうか。東京都は色彩のガイドラインがあります。

事務局 国立ぐらいだと思います。

会長 今早めに手を打たなければならぬのが、色彩と屋外広告物関係ではないのでしょうか。駅前のよい場所なので、看板ばかりになるなど、大体想像がつかれます。企業カラーだからはずせないという会社もありますので、この問題は考えておかないと後で困ります。色彩ガイドラインがないと、民法上太刀打ちができません。

事務局 地区計画担当という部署もありますので、周りの事例もあわせて考えたいと思います。

会長 地域全体の問題です。ここでガイドラインができて小金井市が先陣を切ると、周りが慌てるかもしれません。

事務局 武蔵小金井は再開発でURがやっていますが、統一はされています。

会長 以前A委員がよい話をしてくださいました。広場のイメージがひとつのテーマになると、愛称がだんだんひとつの形にデザインされていきます。何かよい提案があればお願いします。

A 委員 川崎平右衛門という代官が玉川上水に山桜を植えました。それによって、小金井が関東随一の桜の名所になったといえます。他にも川崎平右衛門がらみでサンシュユの木、陣屋橋など、歴史的なものをどこかで表していただけたらと思います。

小金井公園にギョイコウ(御衣黄)という非常に珍しい八重桜があります。黄緑色からピンクになり、最後は白くなって散ります。そういうものもどこかに植えていただけたらと思います。

I 委員 高架工事が完了し、これから駅前が動き出すと感じています。それぞれの地権者に意見があると思いますが、まちとして考えると、時にはまとまることも必要なのではないのでしょうか。そういうことを調整する動きはあるのでしょうか。

事務局 商業系のところについては、共同化したいという方もいらっしゃいます。協議会とは別に、街区ごとに勉強会を開催したいと考えております。

I 委員 時期はいつごろでしょうか。

事務局 まだ換地の作業にしばらく時間がかかります。東側はまだ先になるでしょう。西側は比較的早いと思います。南北のアクセス道路、交通広場は市としても率先してやりたいと考えております。

会長 共同化はリーダーがしっかりし、みんなが利害関係抜きに頑張ろうという気力がないと長続きしません。ここはせつかく駅前広場ができて土地も整然とするので、細分化されていったときにもしっかり議論をして事業を展開できればよいと思います。熱心なリーダーに出てきてほしいです。行政もそれに応えてほしいと思います。

会長 本日はありがとうございました。事務局としてもたくさん宿題をいただきました。行政のみなさんにも頑張っていただきたいと思います。よい提案をまた次回もお伺いしたいと思います。

事務局 次回の協議会は、2月23日火曜日を予定しております。

会長 皆様、長時間ご苦勞様でした。以上をもちまして、平成21年度第5回東小金井駅北口まちづくり協議会を終了させていただきます。